

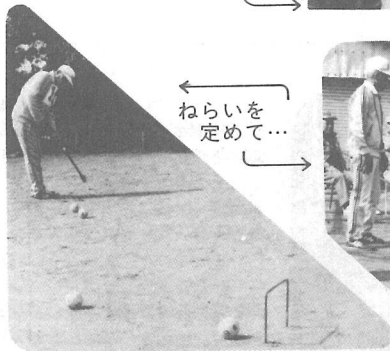
鳥喰新田チームが2連覇



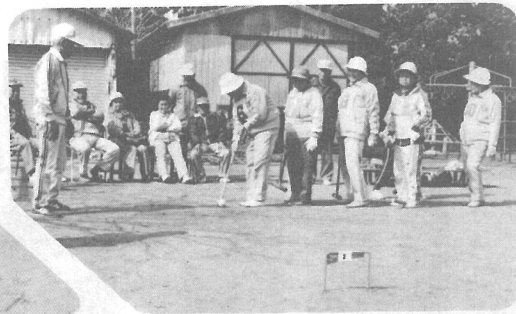
選手宣誓は
越川薫さん(鳥喰上)



第2回町老人クラブゲートボール大会が、栗山ゲートボール場で開かれました。集まった140人の選手の皆さんは、なごやかな中にも、熱戦の火花を散らしていました。(3/27)



ねらいを
定めて...



カメラ・レポート

まちの話題



初めての団体生活ー

ちょっぴり不安だなあ

4月は入学・入園のシーズンです。町立第一保育所(栗山)では、53人の子どもたちが新たに入所しました。先輩のお兄ちゃん・お姉ちゃんたちに囲まれて、やや緊張ぎみでした。(4/4)



町婦人会(平山芳子会長)の定期総会が、文化会館で開かれました。町社会教育活動の中核団体として、今年もその活躍が期待されます。(4/1)

700人の力で 一層の発展を 婦人会



興味を持ったのは中学生の時、校内大会の短距離に出場してものの見事に完敗。ふがいのなさから悔しさがつのり、それから一にも二にも練習を積み重ね、遂にはトッポの座を奪い、それが大きな喜び

鈴木さんが走ることに
鈴木さん(古川)の魅力をとりつかった一人。質問を向けると「どのようなことが起きても、それに耐えられる強い精神力や忍耐力を養うには最高のスポーツです。だからマラソンは私にとって人生なんです。仕事なんです。私からこれを取ったら残るのは何一つありません」と、物静かな中にも気迫の込められた口調で語ってくれました。

マラソン人生

鈴木義一さん(古川)

その願いを実現するため、今日もまた一日の勤務(八街)を終え、20kmもあるコースを黙々と走り込みます。皆さん、彼のトレーニング姿を見かけたら、暖かい声援を送ってあげてください。ファイト!

「世界一流のランナーが集まる福岡国際マラソンに出場し、肩を並べて走ること」だそうです。

社会人になった5年前の18歳の時、初めて青梅マラソンに出場。これを皮切りに、今年2月の別府マラソンを含めて8回ほどの大会に出ていずれも完走し、記録も走るたびに縮めてきました。このマラソン男の念願は、

びだったといえます。これを機に走ることにすばらしさを知り、暇さえあれば走りまくり、距離も延ばしてきました。

気力と体力のすべてを使い尽くし、42.195kmという途方もない距離に挑戦する——それだけに、マラソンには多くのドラマが生まれます。

